



9月に入り自分の名前を言ってかけっこをしました。ふれあいひろば当日も松伏第2小学校の校庭で、マイクを通して名前を言ってパパやママの所まで走る事ができました。「すごいね!」「上手だね!」とたくさん誉めてもらうことで子どもたちの自信に繋がっています。ふれあいひろば後も大きい子たちとダンスやかけっこ、玉入れ、綱引きを楽しみました◎「ふうせん とんで いっちゃったね～」とみんなで飛ばした風船の事が話題になっていました!

ハロウィンファッションショーでは、何になろうかな～?と考えていた子どもたち。年長さんの完成した衣装を見せてもらうことで、イメージが湧いたようで「ねこちゃんになりたい」「プリンセスになる♥」と言っていました。衣装作りも年長さんに手伝ってもらいながら完成し、衣装を着て変身したこすもすさんは、舞台の上で照れながらもポーズを決めていました。表現する事の楽しさや充実感を味わった1日でした。そしてお家でも衣装を着て、ハロウィンを楽しんだことを教えてくれました。温かいご家庭の雰囲気を感じ、みんなが笑顔で楽しむ姿を思うと、とてもうれしかったです。



大きい子たちがお芋ほりに出かけた日、ちゅうりっぷさんとこすもすさんは「お芋ほりごっこ」をしました。「おおきなかぶ」のお話をお芋バージョンに変えて、先生たちによる寸劇をするとつるを持ち「うんとこしょ どっこいしょ」と繰り返しを楽しみ、なかなか抜けないお芋を次から次と先生たちがぐつついて引っ張る姿を、楽しそうに見ている子どもたちでした。最後にスプーンと抜けて出てきたお芋に子どもたちはびっくり!?何とも言えない表情でした。畑に行きシャベルで掘ってみると～「あった!!」「でてきた!」とお芋を見つけて大喜びしていました。土に触れて発見した時のニコニコ顔がかわいかったです。「おおきなおいも」の劇はその後役を決めて楽しんでいます。

いろいろな事に挑戦し経験する中で、お友だち同士助け合う場面がたくさん見られています。ちゅうりっぷさんと過ごす事で優しい気持ちや、お世話する姿も増えています。ランチでは、スプーンやフォークを上手に持ち、こぼさないように気を付けて食べようとする意欲が湧いてきています。大きい子たちのようにステキに座って食べることや、進級に向けてお箸を使って食べることも少しずつ取り入れていきたいと考えています。是非ご家庭でも、正しい座り方やスプーンやフォークの持ち方を再確認してみてくださいね。

トイレでおしっこしているちゅうりっぷさんの姿を見て、刺激を受けて、「おねえさんパンツにしたい!!」とタンスから布パンツを選び「これにする～♥」と履いています。お友だちとパンツの見せ合いっこをして「かわいいね～」と笑い合っていました。お友だちや小さい子からも影響を受けて「やってみたい」という気持ちが大切ですね。これからもたくさん誉めて一人ひとりの自信に繋がっていきたいです。

日々お忙しい中、ご理解ご協力をいただきありがとうございました。三学期もどうぞよろしくお願いいたします。

笹峯裕美 瀬尾皐月 荒川充恵